

信秋タイムズ

第16号

2021.1 発行
発行：佐藤のぶあきを
後援する会 討議資料

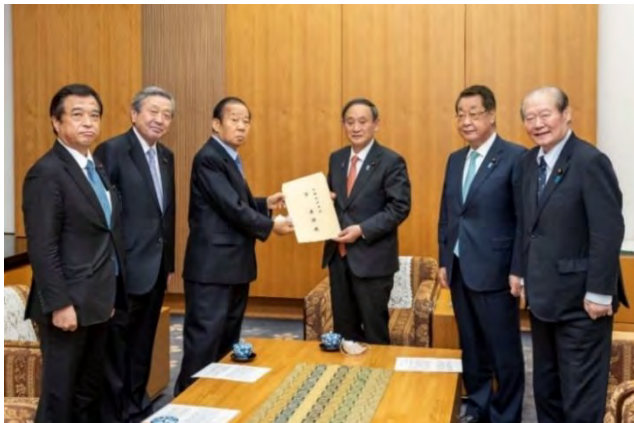
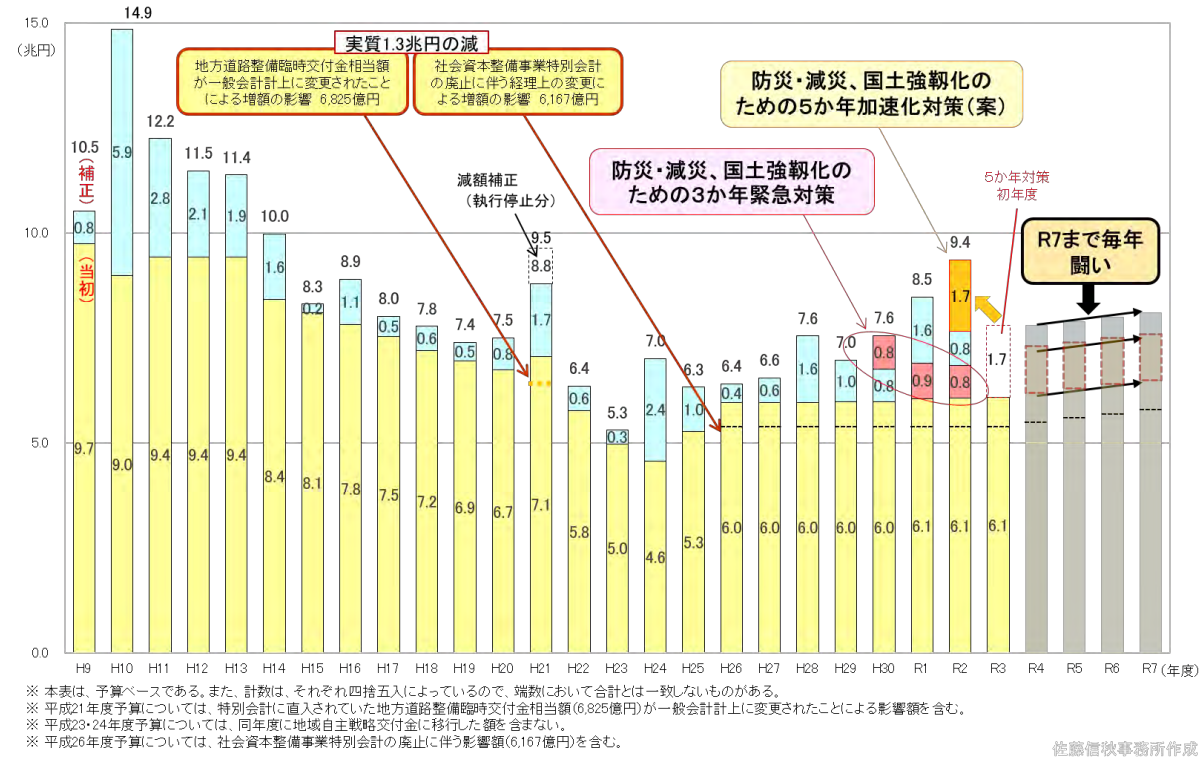
常日頃からのご支援に対し心から感謝申し上げます。

令和2年9月16日に菅新政権が発足しました。

佐藤信秋は

1. コロナ収束に向けた対策
 2. 国土の強靱化に配慮した積極的な経済対策
- が何よりも重要と主張、実践して参ります。

別添 公共事業関係費の推移(政府全体)



令和2年11月11日(水)国土強靱化推進本部



令和2年7月22日(水) 令和2年豪雨災害対策本部



令和2年7月10日(金)
国土強靱化推進本部及び令和2年豪雨災害対策本部



令和元年10月29日(火)
令和元年台風19号非常災害対策本部

さて、去る12月11日に国土強靱化5か年が決定致しました。強靱化計画は見方によっては80点から100点、これも皆様のご支援のおかげで、現時点では満足すべき結果かと思えます。

1. 長期的 — 3年から5年に延長
2. 拡充 — 老朽化対策やらミッシングリンク解消など
3. 規模拡大 — 3年で7兆円から5年で1.5兆円に。約3割増
4. 別枠 — 通常予算に「加速化」として上積み
5. 計画的に — 閣議決定してKPI(数値目標)で政府として約束。かつて行なわれていた五ヶ年計画とは雲泥の違い。かつての五ヶ年計画は、要求官庁の言い分。今回は政府の約束。
6. 当初予算で — 今回は15ヶ月予算で補正で大幅に前倒し。従って、5年分は決まりです。

さらに12月15日には、令和2年度補正予算案が閣議決定されました。国土強靱化5か年加速化対策1.5兆円のうち、令和3年度分の公共事業費は、15ヶ月予算として、この補正予算案に国費約1.7兆円、事業費約2.4兆円が計上されました。公共事業費関係国費の推移を別添グラフのようにまとめて見ました。この為、令和2年度は結果として、近年の中では、最多の予算になります。令和3年度当初案は令和2年度の通常予算を26億円増額確保で昨日12月21日閣議決定されました。5か年対策の残り4年分は、毎年度分約1兆円を超える国費を、通常予算に追加が必要と思われます。中長期的な見通しに立って、毎年度これを計画的に当初予算に計上して、しっかり、実行していくことが重要です。毎年皆で力を合わせて闘って、5か年間の結果を100点超えるようにしましょう。

国土再生クラブ
入会のお祝い
<http://www.kokudo-saisei.net/>

メール会員QRコードより空メール
同内容をのぶあき通信238・239号にて配信

